

# 平成27年度 学力向上を図るための全体計画

## 東京都 教育目標

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び行動する、個性と創造力豊かな人間

## 練馬区 教育目標

- 人間尊重の精神を基調とし、学校・家庭・地域社会との緊密な連携のもとに、心身ともに健康で知性と感性に富み、人間性豊かな子どもの育成を図る

## 豊玉中学校 教育目標

- 心身ともに健康で自主的に努力する誠実な人となることをめざす
- 1 誠実 2 敬愛 3 努力

## 学校、地域の実態

- 生徒は素直で明るく朗らかであり、学習・行事・部活動に意欲的に取り組んでいる。開校70年（平成29年度）の歴史を有し、保護者・地域の方々には教育活動への関心も高く、協力的である。
- 期待される生徒像**
- 自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応できる心豊かでたくましい生徒

## 学校経営方針(学力向上にかかわる要点)

- 教職員一人一人が専門職としての能力を十分に発揮できる学校
- 「授業で勝負できる学校」を創造するために、授業改善に向けた校内研修を充実する。特に指導法や評価の工夫、教材開発については、本校の実態に即した内容で研鑽を深め、授業観、学習観の意識改革を全校体制で進める。

## 各教科の指導の重点

- 基礎的・基本的な内容の確かな定着。
- 生涯にわたる学習の基礎力の育成。
- 情報活用能力の育成と環境教育の視点を重視した指導。
- 指導方法や評価方法の工夫・改善。
- コミュニケーション能力の育成。
- 個性の伸長を図り、多様な能力に応じた興味・関心・意欲の喚起。

## 総合的な学習の時間(勾玉タイム)の指導の重点

- 体験的・啓発的活動を取り入れた「生き方学習」を通して「生きる力」を育む。
- テーマ学習(環境、国際理解、福祉)の授業を通して国際感覚を身に付けた生徒の育成を図る。
- 個々の生徒の体験や学びを分かりやすくまとめたり、発表したりする能力を育む。

## 進路指導の指導の重点

- 主体的に進路を選択する能力や態度の育成を通して、主体的に生きる力を身に付け、生涯学習の基礎を培う。
- 発達段階に応じた系統的・段階的な指導を行い、望ましい勤労観や職業観を身に付けさせる。
- ガイダンス機能を充実するとともに、情報の適切な選択や活用する力を育てる。

## 豊玉中学校における「確かな学力」

～基礎的な知識・技能が身に付いており、それを活用しながら自ら課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力～

[基礎的な知識・技能と主体的に学習する資質・能力・態度]

## 道徳教育の指導の重点

- 道徳教育推進教師を中心に心の教育の充実を図る。
- 学校・家庭・地域との連携を図りながら、道徳授業の充実を推し進めていく。
- 勤労と奉仕の精神の大切さを体験的に理解させ、道徳的実践力を養う。
- 社会規範を尊重するなどの社会性を育む。

## 特別活動の指導の重点

- 学級活動等を重視し、自主的・実践的な能力と態度を育てる。
- 生徒会活動、委員会活動、ボランティア活動等の充実、活性化を図る。
- 生命の大切さを理解させ、健康・安全指導の徹底を図る。
- 一人一人の特性、違いを認め、お互いの健康・安全に留意できる生活態度を育成する。

## 授業改善策の検証

- 練馬区、東京都、全国の学力調査の結果を活用して検証する。
- 定期考査、日常の小テスト等を活用して検証する。
- 生徒の自己評価を活用して検証する。

## 生活指導の指導の重点

- 生徒が、社会の一員として、誠実で豊かな生活をつくりあげられるような資質や能力、態度の育成を図る。
- 豊玉中学校の生徒としての自覚をもち、自分を律して行動できる品格のある生徒を育成する。
- 基本的生活習慣を確立する。
  - ・挨拶ができる。
  - ・その場に応じた言葉遣いや服装ができる。
  - ・時間を守ることができる。
  - ・環境美化に努める。

## 豊玉中学校の授業改善に向けた視点

### 指導内容・指導方法の工夫

- 生徒一人一人の理解の状況に応じた個別指導を実施し、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る。
- 言語活動の充実を図るとともに、課題追求型学習(問題解決的な学習)を通して、生徒の思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- ICT機器等の活用を通して、学習に対する興味・関心、意欲を高める。

### 教育課程編成上の工夫

- 始業前の朝の10分間を活用し、年間を通じ継続的に読書活動を行い、落ち着いた生活や心豊かな人間性の育成を図る。
- 放課後の時間を活用して、補習や補講を行い、学習意欲を高めるとともに、基礎的・基本的な学力の定着を図る。

### 校内における研究や研修の工夫

- 年間を通して、すべての教員による研究授業を行い、教員の授業力や資質の向上を図る。
- 指導技術の工夫やメディアの活用を推進し、生徒の実態に即した授業の充実を図る。
- 小中カリキュラム開発、研究授業等を実践し、小中一貫教育の推進を図る。

### 評価活動の工夫

- 各授業において、自己評価を積極的に取り入れ、生徒の評価能力を高める。
- 保護者や学校評議員による学校の教育活動への評価を実施し、地域に開かれた学校運営を行う。
- 教科部会や研修会を通して、生徒・保護者に理解される評価の妥当性・客観性を高める。

### 家庭や地域社会との連携の工夫

- 教職員、生徒の地域活動への参加を推進し、相互交流を図る。
- 総合的な学習の時間等に地域の人材を活用する。
- 生徒が安心・安全に通うことができる学校を目指し、学校と保護者、地域が連携した声かけや見回り活動等を行う。